

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 包括的性教育について	【趣旨説明】 SNS やインターネットの普及により、子どもたちが性的な情報や生犯罪の危険にさらされる機会が増えています。警察庁の統計によると、令和5年に18歳未満の子どもの性被害件数は2,300件を超え、過去最多となりました。また、性的な画像を送るよう迫られる「自画撮り被害」や性的同意の理解不足によるトラブルなども問題となっています。 このような現実の中で、子どもたちが自分の体を守り、安全に生きる力を育む教育が今や不可欠であると考えます。 ユネスコやユニセフなどが協働し発表した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」では、包括的性教育として「人権の尊重に基づき、年齢に応じた身体や人間関係、社会性を学ぶ教育」を示しています。 5歳からの段階的導入が推奨されており、幼児期から年齢区分に応じて、 ・自分の体は自分のものであること、 ・他者を尊重すること、 ・「いや」と言っている権利があること、 ・思春期の変化やSNS・インターネット上の危険、 ・「同意」や「相互の尊重」の大切さを成長と共に学びます。 本町においても「命の教育」が行われていますが、「人権・命・多様性を学ぶ教育」である包括的性教育は、性被害やいじめの未然防止につながる事が期待されます。 またそのためには、保護者の理解や包括的性教育を行う保育士や教師の理解・スキルの向上が重要です。 そこで以下、質問します。 【質問事項】 ①本町における人権教育・性教育は、保育園・小中学校において、どのように実施されていますか。 ②子どもの人権と安全を守る観点から、幼児期からの包括的性教育の導入を検討すべきと考えますが、本町の見解をうかがいます。 ③包括的性教育の推進に向けて、保育士や教員への研修の実施を検討してはどうでしょうか。本町の見解をうかがいます。

2. 個別避難計画について	【趣旨説明】 近年、豪雨や地震などの災害が頻発・激甚化する中で、災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がいのある方など、要配慮者の命を守る体制づくりは、地域防災における最重要課題の一つです。 その中でも、要配慮者一人ひとりについて避難先や支援体制を具体的に定める「個別避難計画」は、国において 2021 年の災害対策基本法改正により、市町村が計画策定を進めることが努力義務とされ、福祉部門・防災部門・地域住民の三者連携による推進が求められています。 私も令和 3 年と令和 6 年の一般質問において個別避難計画について質問させていただき、今年度予算において福祉部門による計画策定へのアプローチが可能となりました。しかしながら、依然として計画の作成が十分に進んでいない現状であり、個人情報取り扱いや地域の支援者との連携など、さまざまな課題があると認識しています。 本町として、これまでの取り組みの成果と課題を明らかにし、今後の方向性や取り組みを確認することが必要と考え、以下質問します。 【質問事項】 ① 個別避難計画の対象者数、作成済み件数、および未作成者への対応状況について、現時点の進捗をお示してください。 ② 今年度から福祉部門が中心となって実施しているアプローチの具体的内容、対象者数、作成済み件数についてお示してください。 ③ 個別避難計画の作成を進める上での現状の課題と、今後の改善策や推進方針について、防災部門・福祉部門それぞれにお伺いします。
----------------------	--